

初任者教育懇談会①

令和元年5月23日(木) 飯水教育会館において、飯水に教員として初めて赴任した初任者 10 名、2 年目の先生 6 名が参加して、初任者教育懇談会①が開催されました。来賓として、信濃教育会 後藤正幸会長にも出席いただき、ご挨拶とともに信濃教育会事業について紹介をしていただきました。



会のはじめに吉澤会長がスライドを上映しながら、飯水地域の地理や自然の美しさについて紹介し、初任の先生方に飯水の魅力を感じていただく企画も設けまし

た。そのあと 2 つのグループに分かれて、初任として 1 ヶ月半ほど教育実践した上での悩みや今後の抱負などを語りあいました。その中では、同じような悩みを抱えている同士がいることで安堵したり 2 年目の先生からの助言を聞いたりもしました。

参加者からは、

- ・飯水地区の周りに数多くある一つ一つの山の特徴や見どころまでは知らなかったため、機会があったら行ってみよう、見つけてみようと思うものばかりでした。改めて飯水地区は自然という宝の山に囲まれた素晴らしい場所だと感じました。
- ・両会長のお話から、子どもを自分の枠にはめようとするのではなく、一人一人をよく見ようとするこの大切さ、教師がワクワクした気持ちで子どもと関わっていくことが大切ということ学びました。
- ・ものの見方を変える、というお話を聞いたとき、「あっ、今の自分は悪い方にばかり目が向いているな」と気づきました。良いところを見つけ伸ばしていけるよう、ものの見方を変えていきたいと思えます。まだ始まったばかりの飯水での仕事、いろいろなことがあると思えますが、頑張りたいたと思います。



などの、感想が聞かれました。

小規模校・単級の学校が多い本郡市において、初任者や 2 年目の先生方にとっては本教育懇談会が情報交換や悩みを共有する貴重な機会であると思えます。昨年度から例年夏休みに行っているハトの会に初任者教育懇談会②の趣旨も加えました。このような取り組みを通して、若い先生方が語り合える場をより多く設定していきたいと思えます。